



【 京急グループ CSR 報告書 2009 】

# CSR REPORT



京急グループ CSR報告書 2009  
京浜急行電鉄株式会社 総務部  
平成21年11月発行

お問い合わせ

京急ご案内センター

TEL 03-5789-8686

または

TEL 045-441-0999

受付時間／平日 7:30～21:00  
土・日・祝日 9:00～17:00

**KEIKYU**  
京急グループ

# INDEX

京急グループの概要……………1

トップメッセージ、社是、京急グループとステークホルダーとの関係……………3

**特集①**

地域・自然との共生 社会とのコミュニケーション……………5

**特集②**

安全・安心で快適な都市生活の創造……………7

**Chapter 1 安全・安心への取り組み**……………9

〔鉄道事業の取り組み〕……………9

〔バス事業の取り組み〕……………13

〔その他の取り組み〕……………14

**Chapter 2 環境への取り組み**……………15

京急グループの環境マネジメント……………16

〔鉄道事業の取り組み〕……………17

〔バス事業の取り組み〕……………18

〔その他の取り組み〕……………19

〔廃棄物の削減・リサイクル〕……………20

**Chapter 3 次世代を担う子どもたちに住みよい街づくり**……………21

〔地域の皆さまとのコミュニケーション〕……………21

〔お客さまとのコミュニケーション〕……………23

〔株主・投資家とのコミュニケーション〕……………23

〔従業員とのコミュニケーション〕……………24

**〔CSRマネジメント体制の構築〕……………25**

京急グループでは、近年企業における社会的責任および環境保護への貢献がますます期待されていることから、グループ各社の社会貢献活動、環境活動をステークホルダーの皆さまにお伝えするため、平成20年に初めて「CSR報告書」を発行しました。

発行にあたっては、ステークホルダーの皆さまへわかりやすく情報をご提供すよう、平成20年度にグループ各社で取り組んだ活動実績を中心に、活動の前提となる企業理念や組織体制もあわせて報告しています。また、平成20年度の主な活動について、巻頭特集としてまとめてご報告しています。

**<報告対象期間>**  
平成20年4月1日～平成21年3月31日。一部の活動は、平成21年度の内容も含まれます。

**<報告対象組織>**  
京急電鉄を中心に、京急グループ76社の活動をご報告しています。

**<発行時期>** 平成21年11月(次回発行予定 平成22年10月)

**<参考にしたガイドライン>**  
● GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2006」  
● 環境省「環境報告ガイドライン(2007年版)」



## 京急グループの概要

### ■ 事業フィールド

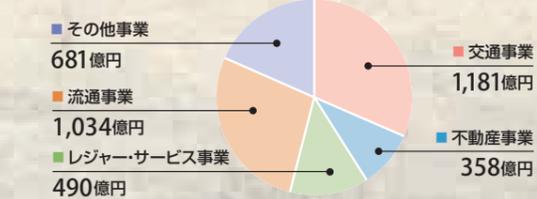
良質なサービス・商品の提供により、皆さまの生活に貢献していきます。

<p><b>交通事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄道事業</li> <li>● 乗合・貸切自動車事業</li> <li>● タクシー事業</li> </ul>	<p><b>不動産事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 不動産販売業</li> <li>● 不動産賃貸業</li> </ul>	<p><b>レジャー・サービス事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 旅行業</li> <li>● ホテル・旅館・飲食業</li> <li>● レジャー施設・ゴルフ場業</li> <li>● 水族館・遊園地業</li> <li>● 広告代理業</li> </ul>	<p><b>流通事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 百貨店業</li> <li>● ストア業</li> <li>● ショッピングセンターの経営</li> <li>● 物品販売業</li> </ul>	<p><b>その他事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 建設・土木・造園業</li> <li>● 輸送用機器修理業</li> <li>● 電気設備工事業</li> <li>● ビル管理業</li> <li>● 情報処理業</li> <li>● 自動車教習所業</li> </ul>
---	--	--	---	---

### ■ グループ会社数・総従業員数(平成21年3月末日現在)



### ■ 事業別営業収益(平成20年4月1日～平成21年3月31日)



### ■ 京浜急行電鉄株式会社概要(平成21年3月末日現在)

社名 京浜急行電鉄株式会社  
[Keihin Electric Express Railway Co., Ltd.]

設立 昭和23年(1948年)6月1日

本社 〒108-8625 東京都港区高輪2丁目20番20号

資本金 437億円

代表者 取締役社長 石渡 恒夫

従業員 1,480名

主な事業内容 交通事業、不動産事業、レジャー・サービス事業、流通事業、その他事業

# 地域とともに歩む企業グループであるために

京急グループは、基幹事業である交通事業の安全確保はもちろん、グループすべてのサービスと商品を安心してご利用いただくために、安全のための取り組みや人材の育成に努め、安全対策投資等を継続的に実施しております。

また、京急グループの重要な戦略拠点である品川、羽田空港、川崎、横浜、三浦半島地区において、新規事業の推進や既存事業の営業強化を図るなど、「地域密着型企业集団」として、沿線価値の向上に努めることにより、地域の皆さまと一緒に

発展してまいりたいと考えております。

さらに、環境負荷に配慮した鉄道車両やバス車両の導入など、さまざまな環境対策に取り組むとともに、バリアフリー化の推進、障がい者雇用の促進、沿線観光資源の積極的なPRなど、地域社会へ貢献していくさまざまな活動を行っております。

このほか、京急グループでは、コンプライアンスを重視した経営などへも積極的に取り組んでおります。内部統制体制として、グループ全体で法令順守の理念の実現に向けた体制の構築・強化を図る

ことなどにより、業務の適正性を確保するほか、金融商品取引法に基づく内部統制報告制度への対応も鋭意推進しております。

また、コーポレートガバナンス体制につきましても、公正で透明性の高いグループ経営に取り組むなど、一層の体制の強化を進めております。

今後も、これらの課題への取り組みを通して、企業価値の最大化に努めるとともに、地域に根ざした企業集団として、都市生活を支え、社会の発展に貢献してまいります。

## 京浜急行電鉄(株) 社是

### 経営理念

- わが社は、都市生活を支える事業を通して、新しい価値を創造し、社会の発展に貢献する
- わが社は、伝統のもとに、創意あふれる清新な気風をもって、総合力を発揮し、社業の躍進を目指す
- わが社は、会社の繁栄と全員の幸福との一致を追求する

### 行動指針

- 感謝と誠意をもって顧客に接し、サービスに努めよう
- 絶えず研鑽し、進取の精神をもって、可能性に挑戦しよう
- 誇りと責任をもち、相互の信頼を深め、仕事に取り組もう

# Top Message

トップメッセージ

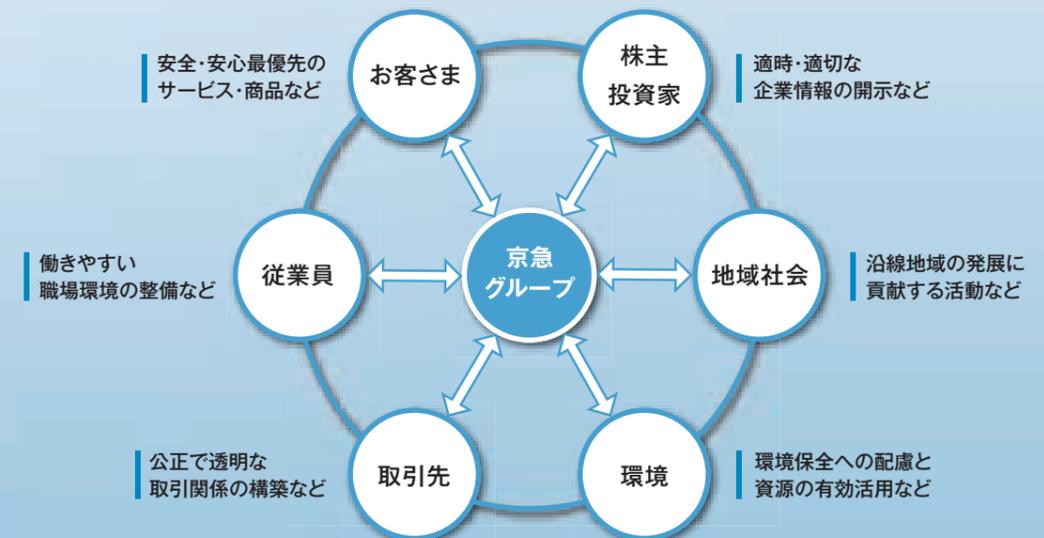
京浜急行電鉄株式会社 取締役社長

石渡 恒夫



## 京急グループのCSR活動

京急グループは、ステークホルダーの皆さまとの信頼を築くため、積極的な情報開示に努めることはもちろん、幅広いコミュニケーションを通じて、長期的な信頼関係を構築し、社会の発展につなげていきます。



京急グループとステークホルダーとの関係

京急グループの取り組み



大丸山

自然環境への貢献および啓発活動

京急グループにとって、沿線の自然は貴重な資源であり、自然を活かし、生態系の保全に貢献することも社会的使命と考えています。三浦市の「小網代の森」は自然のままの水系が残され、希少種を含む貴重な生態系が形成されている、地域のかげえのない財産です。京急電鉄は、神奈川県による「小網代近郊緑地保全区域」の指定に同意し、所有する約10ヘクタールを自主保存するとともに、約2ヘクタールを神奈川県に寄附することで、小網代

の森の自然環境の保全に貢献しています。

また京急電鉄の所有する、横浜市でもっとも高い山・大丸山のある緑地が、横浜市との合意に基づき、「金沢市民の森」として指定を受けました。京急電鉄では、大丸山の自然に触れ合っただけイベントや樹木に手作りの樹名板を付けるイベントを横浜市と共催しました。今後も、このように自然の大切さ、素晴らしさを皆さまに伝えることができるイベントを開催していきます。

自然との共生

京急電鉄は、三浦市三戸・小網代地区で行っている開発事業において、魅力ある地域づくりを目指し、自然・農地・宅地のバランスを図りながら整備を進めています。上記のとおり自然環境を保全し、農地の造成も完了したため、これから宅地開発に着手しますが、これに先立ち、宅地開発区域に隣接する蟹田沢を自然環境保全エリアとして整備し、この地区に生息する貴重な生物を移植・保護することにしました。現在、生物を移設するための準備工事を行っています。また、YRP(横須賀リサーチパーク)の開発においても、敷地内に新設した水辺公園に湿地を移設・再生して、湿地に生息する貴重な生物を保護しています。



蟹田沢ビオトープ

「親子で木に名札をつけよう! in 大丸山」

平成21年6月、地元にお住まいの親子10組20名様をご招待して、大丸山樹名板設置イベント「親子で木に名札をつけよう! in 大丸山」を京急電鉄・京急緑地開発・横浜市の共催で開催しました。このイベントには、沿線の金沢区にある貴重な自然財産である大丸山に自生する木々に名札をつけることで、一度限りではなく、継続的に自然に親しんでいただくきっかけづくりになるようにとの願いが込められています。



取り付けした樹名板

Point of view

担当者の視点

子どもたちに緑を守っていく気持ちとその方法を知ってほしい

京急緑地開発(株) 工事部

イベントの実施にあたって、都会に住む子どもたちに自然の大切さを知ってもらうには、一度限りで終わってしまうのではなく、イベントをきっかけに二度・三度と自然に親しむ機会を持っていただけるようにすることが大事と考え、そのために知恵を絞りました。

当日は天候にも恵まれ、ご協力いただいた樹木医の方に、名札を付けながら木についてのさまざまな説明をしていただき、食べられる木の実があると食べながら歩いたりして、本当に楽しいひと時を過ごすことができました。



「ホタル放流会」

京急電鉄は、平成21年4月、三浦半島西海岸で分譲中の住宅地「湘南佐島なぎさの丘」内の親水公園に設けたビオトープにおいて、「ホタル放流会」を開催しました。放流されたのは、住民の方々や近隣にある横須賀市立大楠小学校の児童が育てた分を含めた「ヘイケボタル」の幼虫約250匹と、餌となる「カワニナ」約500匹です。この取り組みには、ホタルの生息地であった佐島

の生態系を守り、また、この地に暮らす住民の方自らが地域の自然や環境に関心を持つためのきっかけを作るという、2つの目的があります。



Point of view

担当者の視点

自然と共生して発展する街を体感できるイベントにしていきたい

京急電鉄 地域開発本部

ホタルの放流会は、「湘南佐島なぎさの丘」内のクリーンアップキャンペーン(清掃活動)とともに実施していて、今回が2回目となりました。このイベントは、放流当日だけでなく、前の年の秋から春にかけて、地域住民の方々にホタルの幼虫を人工飼育していただくことから始まっています。夏には、お住まいの方から、成虫になって光っているホタルの様子をご報告いただくなど、地域と一体になった活動として定着してきました。この放流会を通じて、ぜひ地域の子供たちには、豊かな自然と共生しながら発展していく自分たちの街を見て成長してほしいと思います。



絶滅危惧種の保存

京急油壺マリンパークは、京急グループ唯一の水族館として、絶滅危惧種の繁殖保護活動を地域や学校とともに取り組んでいます。平成19年以降は、神奈川県絶滅危惧対象種である、三浦産メダカ・横須賀産イモリ・横須賀産オオクワガタ・横浜産

ホトケドジョウの保護繁殖に成功しました。



マリンパーク・三浦メダカ

京急電鉄の取り組み

ATS(自動列車停止装置)の高機能化

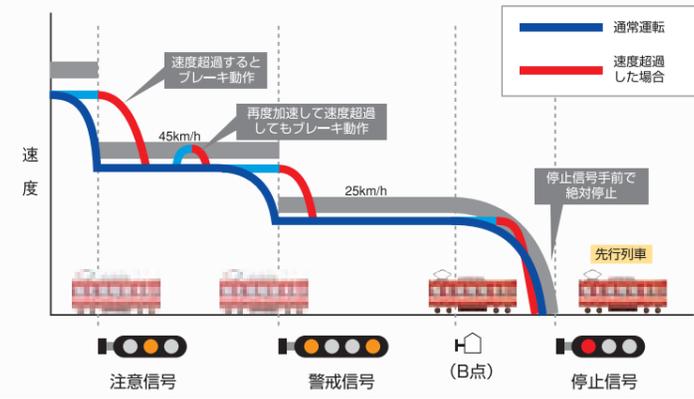
ATS(自動列車停止装置)は、電車運転士が誤って停止信号が表示されている区間に入らないように、自動的にブレーキがかかり停止信号の手前に列車を停止させる安全装置です。京急電鉄ではこのATSを昭和43年から導入してきましたが、さらなる安全性の向上を目指して高機能ATS(C-ATS)への更新工事を実施しました。

この高機能ATSでは、より細かい速度チェックを行うとともに、信号区間内を連続的に制御することが可能となりました。

停止信号の手前で確実に列車を停止させる「絶対停止パターン」や、カーブでの速度オーバー時に自動でブレーキがかかる「曲線減速パターン」など、過去の鉄道事故の教訓が生かされた機能が備わっており、従来型に対して安全性が格段に向上しています。

また、ATSで停止信号によるパターン制御がかかる際は、その5秒前に警報音で運転士に知らせるため、運転士が手動で速度調節をすることも可能で、安全意識の向上にも貢献しています。

■ 高機能ATS(C-ATS)の動作概要



高機能ATS

Point of view

担当者の視点

列車の運行に影響が出ないよう細心の注意を払い工事を実施しました

京急電鉄 鉄道本部 施設部通信課

高機能ATS導入にあたっては、より安全性の高いシステムとするために、通信課、車両課、運転課の三者で意見交換を行いました。導入後も運転課からの要望を収集し、今後の改良方針に役立てています。新ATSへの切替は平成21年の2月に全路線で行いましたが、工事施工中も電車の運行を止めることはできないため、終電から始発までの短い時間に集中的に実施し、通常運行に工事の影響が出ないように細心の注意を払いました。



Point of view

担当者の視点

安全・安心は、一朝一夕に成し得るものではありません

京急電鉄 鉄道本部 運転車両部 主任運転士

高機能化された新しいATSが運転士のバックアップ機能として導入されたことで、私たち運転士の負担、特に精神面での負担が相当軽減されました。例えば、万が一体調不良などで意識を失った時にも、ATSの「絶対停止パターン」により自動的に非常ブレーキがかかり、電車が止まることができるようになるなど、より安心して職務に臨むことができました。

鉄道は、安全・安心で快適であることが前提です。しかし、安全・安心は一朝一夕に成し得るものではありません。日々の地道な努力の積み重ねが無事故へとつながっていきますので、私たち運転士は、慢心や慣れで手を抜くことなく、基本作業を確実に守ることを肝に銘じています。



京急タクシーグループの取り組み

ドライブレコーダーの導入

京急タクシーグループでは、安全・安心で快適にタクシーをご利用いただけるよう、事故防止とサービス向上を目的にドライブレコーダーを導入しました。ドライブレコーダーは、急ブレーキや急ハンドルなど強い加速度がかかった場合や事故が起きた際に、その前後の映像を自動記録するもので、平成19年末から導入を開始し、平成20年6月までに京急タクシー全車両への取り付けが完了しました。

ドライブレコーダーにより記録された映像は、社内の安全運転教育の際に活用しており、運転手の安全意識向上に大きな効果を上げています。また、報告が義務づけられている事故統計についても、より正確なデータを報告できるようになっています。



■ ドライブレコーダー導入による事故発生件数の減少状況

	被害事故			加害事故				双方過失			自損		
	件数	物損	人身	件数	物損	人身	人身車内	件数	物損	人身	件数	物損	人身
平成20年度	164	141	35	165	113	59	6	45	39	13	243	243	0
平成19年度	201	174	27	201	120	84	4	42	38	5	313	312	1
増減	-37	-33	8	-36	-7	-25	2	3	1	8	-70	-69	-1

Point of view

担当者の視点

ハード、ソフト両面からの対策が肝心

京急交通(株) 京急タクシーグループ本部事務所 経営管理部

ドライブレコーダーが導入される以前の安全対策は、交通安全週間の前後に実施される警察協力による安全運転指導と、損保会社の担当者による安全運転指導など、運転の技術と意識に重点が置かれていました。ドライブレコーダーの導入により、こうしたソフト面での対策に加え、ハード面での対策も万全を期したことで、お客さまに、より安心してご利用いただけるようになったと思います。



ウエルキャブ車両(福祉車両)の配備

京急タクシーグループでは、座席が回転し、体の不自由な方でも車の乗り降りがしやすいウエルキャブ車両の導入を進め、平成21年9月末現在16台を配備しています。ウエルキャブ車両は、福祉車両でありながら料金は普通のタクシーと同額のため割愛で、地域の方にも気軽にご利用いただいています。

さらに、車椅子対応のリフト付きジャンボタクシーの配置、乗務員および管理者へのホームヘルパー資格取得を進め、より多くのお客さまが安全で安心して快適にご利用いただけるサービス向上に取り組んでいます。



Point of view

担当者の視点

地域サービスへの利用で相乗効果を発揮

京急交通(株) 京急タクシーグループ本部事務所 経営管理部

京急タクシーの営業エリアは、その住みやすい環境から高齢者の方がセカンドライヴの舞台として居住されていることも多く、福祉車両のニーズは高まっています。

京急タクシーグループの一部では安心ネットワーク事業(高齢者24時間緊急通報支援サービス)への協力や、川崎市の高齢者外出支援サービス事業「おでかけGO」の運営も行っていますが、こうした事業の高齢者輸送にウエルキャブ車両を利用するなど、地域サービスにおいて相乗効果をあげています。



# 究極の安全・安心へ 走り続けます

「安全・安心」は、誰かがもたらしてくれるものではなく、  
私たちが自ら強い意志を持って創り、維持するべきものです。  
その取り組みにゴールはなく、未来に向けて不断の努力を続ける必要があります。  
京急グループは、究極の安全・安心を目指し、これからもずっと走り続けます。



## 鉄道での取り組み

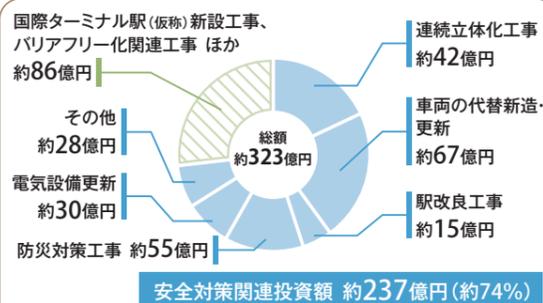
### 安全・安心へのマネジメント体制

#### 安全方針

1. 安全最優先の意識の徹底を図るとともに、鉄道安全管理規程に基づき、安全確保に全力を傾ける。
2. 法令順守の理念の実現に向け、コンプライアンス規程に基づき、コンプライアンス体制の構築・強化を図る。

京浜急行電鉄株式会社 取締役社長 石渡 恒夫

#### 平成21年度 鉄道事業設備投資額(計画)



#### 平成21年度 鉄道本部 安全重点施策

- 安全の確保  
「全員が協力して輸送の安全の確保に努める。」  
—安全は与えられるものではなく、一人一人が創るもの—
- 法令等の順守  
「ルールを順守することは、安全確保の根幹であり、社会的責務である。」  
「輸送の安全に関する法令および関連する規程の教育を計画的に策定・実施し、理解を深めるとともに、認識度の把握に努める。」
- 良質なサービスの提供
  - お客様の立場に立った案内の強化
  - バリアフリー設備の一層の充実による快適性の向上
  - 駅設備の安全対策の一層の充実
  - 橋梁改良、トンネル補修、法面防護などの耐震や防災などの安全対策工事の推進
  - 高機能ATSの円滑な運用 ●テロをはじめとする警備、警戒の強化
  - 大規模工事(国際ターミナル駅[仮称]建設、蒲田連立工事、大師線地下化等)の円滑な進捗
  - 沿線価値の増大による鉄道の利用促進
  - 見直しや改善を意識した施策の推進

## 誰もが安心できる社会を作りあげるために

### ●災害に強い鉄道を目指して●

#### 高架橋・橋梁の耐震補強

平成21年度は、地震発生時の高架橋の安全を向上させるため、京急川崎～八丁畷駅間のほか、引き続き横浜～南太田駅間と三浦海岸～三崎口駅間の耐震補強工事を完了に向け鋭意進めております。

なお、平成21年5月には六郷土手～京急川崎駅間の六郷川橋梁が完了いたしました。



横浜～南太田駅間

京急電鉄 施設部工務課

平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災以降、高架橋および橋梁に対し、同等の地震が発生しても、倒壊しないよう補強工事を進めております。耐震補強必要本数に対し、平成20年度末現在の進捗率は約75%となっており、早期完了に向け、引き続き安全第一で工事を進めてまいります。



#### 法面防護工事

がけ崩れなどの災害を未然に防止するための法面防護工事(落石防護柵・吹き付け等の補強・切崩し)を推進し、平成20年度は、南太田～弘明寺駅間、京急田浦～安針塚駅間などで実施しました。

また、平成21年度も引き続き、京急大津～浦賀駅間、京急久里浜～YRP野比駅間などにおいて法面防護工事を進めています。



井土ヶ谷～弘明寺駅間

京急鉄道施設(株) 土木工事区

法面の防護については、法面の崩落を防ぐ法面枠組工、表土の侵食を防ぐ張りコンクリート工、落石を線路際で受け止める落石防護工等があり、地山の状態・周囲の地形・用地境界等を考慮しながらその場所で最も適切な工法を選んで工事を進めていきます。

今年度も井土ヶ谷～弘明寺駅間で法面枠組工、金沢八景駅構内で落石防護工を施行中であり、その他にも大小合わせて15か所程で工事中または計画中です。



#### トンネル補修工事

将来にわたり列車の安全運行を確保するため、トンネルの点検を定期的に行っているほか、平成20年度は、戸部～日ノ出町駅間、京急田浦～安針塚駅間、逸見～汐入駅間で補修工事(覆工背面空隙注入工、断面補修工、漏水防止工)を実施しています。平成21年度以降も継続的に工事を進めていきます。



京急鉄道施設(株) 土木工事区

トンネル内の作業は日中の電車運行中に施工できないため、終車から始発という限られた時間の中で、迅速に作業をしなければなりません。

また覆工背面空隙注入工は、万が一でも事故のないように、注入圧力の管理・トンネル覆工の変状観測に常時注意しながら注入するため、夜間作業中は常に緊張感を持ち工事をしております。

この工事で、京急のさらなる安全運行の強化に貢献し、お客さまへより多くの安心を提供できれば、工事担当者として誇りに思います。



#### 鉄道事故復旧訓練

万一の重大事故発生に対処することを目的として、毎年秋に鉄道事故復旧訓練を行っています。28回目となる平成21年の訓練は、フェンスを突き破り線路内に侵入したトラックに列車が衝突する脱線事故を想定して、警察・消防の協力のもと、1,000名以上が参加して実施しました。また、一般の見学希望者も募集し、抽選で選ばれた100名の方にもご見学いただきました。



京急電鉄 安全対策担当

鉄道事故復旧訓練は、万一の重大事故発生時に対処するため、毎年秋に実施している総合訓練で、平成21年度で第28回目の実施となります。有効な訓練とするため、各部署やご参加いただく消防、警察など関係機関と協議を重ね実施しています。訓練終了後には、参加者や見学者、公募により選ばれた一般見学者の方にアンケートをお願いし、これをもとに反省会議を行い次回の訓練に反映するとともに、係員教育などのソフト面やハード面の充実を図っております。



鉄道事業の取り組み

京急蒲田駅付近 連続立体交差事業

現在、京急蒲田駅付近で行っているこの事業は、平和島駅から六郷土手駅までの延長約4.7km、および京急蒲田駅から大鳥居駅までの延長約1.3kmの合計約6.0kmを立体交差化し、環状8号線および国道15号（第一京浜）を含む28か所の踏切道を廃止することで、踏切事故や道路渋滞を解消し、安全性向上や交通円滑化を図ります。

平成13年から事業に着手しており、平成20年度は、5月に京急蒲田～雑色駅間の環状8号線踏切付近の上り本線を高架化したほか、本設高架橋を施工しました。平成22年に予定している上り本線・空港線の高架切替に向けた工事を進める等、事業完成に向けて現在鋭意工事を進めています。



※本事業は、道路整備の一環として、国土交通省の国庫補助により、東京都の都市計画事業として施行するものです。

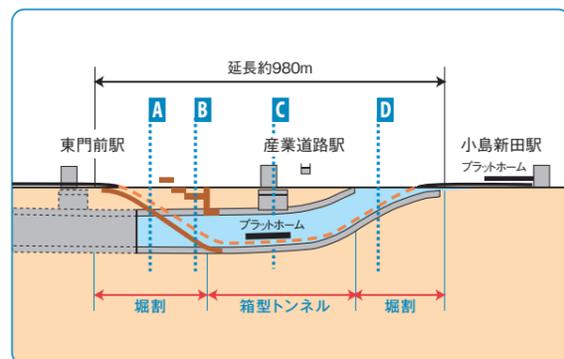
大師線 連続立体交差事業

川崎市の都市計画事業として行われている、大師線連続立体交差事業（地下化）のうち、暫定的整備として、平成18年9月から、東門前駅付近～小島新田駅付近の約980mの区間において地下化工事を行っています。この工事により、東京大師横浜線（産業道路）を含む3か所の踏切道がなくなります。平成20年度は、産業道路駅ホームの仮設工事や土留杭打ち工事を実施しました。

なお、大師線連続立体交差事業（地下化）は、大師線約5kmのほぼ全線を地下化することにより、計14か所の踏切道を廃止し、安全性の向上と道路交通の円滑化を図るものです。



完成イメージ



A 東門前第2踏切付近 B 東門前第3踏切付近 C 産業道路駅部 D 江川ふれあい公園前

工事の様子



※本事業は、川崎市の都市計画事業の道路整備の一環として、国土交通省の国庫補助を受けて施行するもので、その財源は主にガソリン税、自動車重量税等です。

京急・空港線に国際ターミナル駅（仮称）を新設

羽田空港では、今後さらに見込まれる需要の増大に対応するため、4本目となるD滑走路が新設されます。

この新滑走路の整備によって、国内線利用者の利便性の向上が図られることに加え、国際定期便の就航が予定され、国際線旅客ターミナルビルが建設されます。羽田空港の本格的な国際化にあわせて京急では、空港線の天空橋～羽田空港駅間に、「国際ターミナル駅（仮称）」を新設します。平成10年に開業した羽田空港駅以来73番目の新駅の誕生となります。



ホームと出発ロビー・到着ロビーのアクセスは、複数の大型エレベーター、直行エスカレーターでダイレクトに結ばれます。車椅子のお客さまや、荷物用カート使用のお客さまがご利用いただけるよう、広々とした開放感のあるホームとなります。

また、ステーションスタッフのお客さまへのご案内により、すべてのお客さまに快適にご利用いただけるサービスを提供いたします。



駅概要：地上3層 地下2層 相対式ホーム  
ホーム全長/160m(8両対応) 幅員/14m(一般部) 30人乗りエレベーター 7基 エスカレーター 8基

防犯カメラの増設

駅構内への防犯カメラの増設を進めています。平成20年度は、約47台増設し、平成21年9月末時点で約380台設置しています。今後も増設を予定しており、平成21年度末には約390台体制とする予定です。



事故等に備えた駅間の線路周辺状況図の整備

万一、駅間で列車事故等が発生した際に、駅係員や警察・消防関係者が迅速な初動対応ができるよう、全線の駅間の線路周辺の状況をまとめた資料を作成しました。この資料は、駅係員が現地調査を重ね編集したもので、沿線の警察・消防へも情報提供しており、平成21年5月には、神奈川県警察本部から地域警察活動に寄与するものとして感謝状が贈られました。



発車案内装置

発車案内は、国内旅行者および海外からの旅行者にとってわかりやすいものであることが重要です。平成21年時点で品川駅・京急蒲田駅・羽田空港駅・京急川崎駅（改札口）の4駅に4か国語表記の発車案内装置を設置しています。



多機能トイレの新設

現在42駅に多機能トイレを設置しています。今後各駅のトイレ改修を積極的に行い、安全・清潔はもとより安心してご利用いただける機能的なトイレの設置を目指しています。なお、平成21年度末には新たに3駅に設置します。



駅係員・警乗警備員による巡回

鉄道テロ対策の一環として、駅係員や警乗警備員による巡回を行っています。また、駅係員の巡回時には、「警戒」と記された腕章を着用のうえ、実施しています。

また、平成20年5月から、警備員の配備体制を変更し、駅や車内の警備体制の強化を図っています。



バス事業の取り組み

安全に対する基本方針

私たちは「輸送の安全確保が最も重要である」という認識を社員一人ひとりが自覚することが大切であると考え、安全に対する投資を引き続き積極的に行うなど、さらなる安全性の向上に努めなければならないと考えています。

また、お客さまに対して安全性の向上と同時に、質の高いサービスを提供し続けていくことが、お客さま満足度を高め、輸送の安全確保にもつながっていくと考え行動しています。

運輸安全マネジメント

- 輸送の安全に関する基本方針
- (1) 取締役社長は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たしていきます。また、事業所における安全に関する声および意見に真摯に耳を傾けるなど、現業の状況を十分に踏まえつつ、職員に対して、輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させます。
  - (2) 会社は、輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善（いわゆる「Plan Do Check Act」）を確実に実施し、安全対策を不断に見直すことや、全職員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めていきます。また、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表します。

※「輸送の安全に関する目標および事故統計」は、各社Webサイト上でご覧いただけます。

- 京急バスグループ  
トップページ▶バスの取り組み▶運輸安全マネジメントに関する取り組み
- 臨港バス  
トップページ▶そのほかのご案内▶運輸安全マネジメントに関する取り組み

**安全方針**

- (1) 安全・安心輸送に徹すること
- (2) コンプライアンスを意識すること
- (3) 責任と自覚を持って積極的に業務を遂行すること

Point of view

担当者の視点

**安全風土の更なる定着を目指します**

京浜急行バス(株)  
運輸部安全対策サービス向上担当

ドライブレコーダーの導入は、事故防止の従業員教育に連動しているだけでなく、デジタルタコグラフに記録されたデータを分析することにより、乗務員同士が積極的にエコドライブを競い合い環境にも安全にも良い影響が生まれています。バス事業では、この他にもさまざまな施策を通じて安全風土の更なる定着に努めています。



ドライブレコーダーの導入

万一の事故発生やお客さまからいただいた苦情・ご要望に対し、その原因究明を正確かつ客観的に行うため最新のドライブレコーダーを順次導入しています。平成21年9月末現在、京急グループで975台に導入し、設置率は82%となりました。

速度を読み取り記録するデジタルタコグラフと連動したドライブレコーダーは、急発進や急ブレーキ時に解析映像が自動的に録画されるため、安全運転の改善指導や事故再発対策に活用しています。また乗務員の安全運転、エコドライブに対する意識向上にもつながっています。



バスジャック等の緊急事態への対応

バスジャックや車内におけるテロ、不審物、不審者等、緊急事態における適切な対応とお客さまの安全確保を目的として、京急グループではバス業界の基準をもとに、さらに充実させた独自のマニュアルを制作・運用しています。

また、突発的事態発生時における対処能力の向上や発生現場における連携強化を図るために、警察や消防、自治体等と協力して訓練を行っています。



夏の事故防止キャンペーン実施

平成21年7月10日、川崎近隣のバス会社5社(川崎鶴見臨港バス、京浜急行バス、川崎市交通局、東急バス、横浜市交通局)が参加し、夏の交通事故防止を呼び掛けるキャンペーンを実施しました。

各バス会社の女性職員が、それぞれ一日警察署長に任命され事故防止を呼びかけたほか、町行く人に対して事故防止等と呼びかけるチラシを配布したり、ちびっ子交通安全教室を開くなど、事故を未然に防ぐための啓発活動を行いました。



その他の取り組み

防災への取り組み

●品川駅周辺滞留者※1対策訓練

首都直下型地震に備え、各省庁・自治体が進める「帰宅困難者」の対策・整備に対応し、京急グループを含む「品川駅周辺滞留者対策推進協議会」では、平成21年1月に滞留者対策訓練を行いました。M7.3、震度6強の地震が発生したという想定のもと、安全確保・安否確認・被害状況の把握などの初動対応と、品川駅周辺の滞留者の避難誘導訓練を実施。京急グループは、ホテルパシフィック東京内に救護所を設置し、京急ストアから救援物資を供給、京急タクシーを病院搬送訓練に提供する等の協力を行いました。



子ども・青少年に対する取り組み

●シューフィッター※2の配置

京急百貨店では、お客さまの安全と健康を守る観点から、専門技術を身につけ正しく足にフィットする靴をアドバイスするシューフィッターを配置しています。特に子どもの場合は、体の成長のため常に足に合った靴を選ぶのが難しく、外反母趾や巻爪、魚の目等の病気になるケースもあり、子供靴売り場へのシューフィッター配置に力を入れています。



青少年健全育成推進店

京急ストアでは、神奈川県内の各店舗を「青少年健全育成推進店」と位置づけ、青少年の喫煙・飲酒の防止に努めています。

平成19年7月に施行された「神奈川県青少年喫煙飲酒防止条例」を受け、神奈川県内に住む青少年が健全に成長できる社会環境を整備することを目的に、神奈川県に店舗を構える小売店として、青少年に対する喫煙や飲酒の防止についての取り組みを積極的に行っています。



用語解説

※1【滞留者】 大地震等の災害時、交通網が分断され帰宅できずに駅周辺に留まらざるを得ない人

※2【シューフィッター】 「足と靴と健康協議会(FHA)」が認定している「足に靴を正しく合わせる」技術を持った専門家の総称

バリアフリーの取り組み

●観音崎京急ホテルにエレベーターを設置

観音崎京急ホテルは、県立観音崎公園に隣接するホテルとして、観光客はもとより、地元住民の癒しの空間として、施設運営、サービスの向上を図っています。

近年、近隣の介護福祉センターのレクリエーションの一環として、食事や宴会、宿泊の利用が増えています。そこで介護スタッフやご利用いただくお客さまが、不便を感じないよう、快適な施設を目指し、バリアフリー化を進めており、その一環として平成21年4月、エレベーターを設置しました。4月以降多くのお客さまから、利便性が向上したとの声をいただいています。



今後も、サービスの向上、施設の改善で快適なホテルライフを過ごしていただけるよう、努力していきます。

伊豆長岡京急ホテルの和室客室を和洋室にしてベッドを導入

伊豆長岡京急ホテルでは、和室客室の一部を、和洋室に改装してベッドを導入し、より多くのお客さまが快適にご利用いただけるような取り組みを進めています。

改装した客室には、入口に座面が180度回転するアシストシートを設置して、履物の脱着が楽に行えるよう工夫しています。



# 持続可能な社会の実現へ 走り続けます

京急グループの基幹事業である鉄道やバスは、環境負荷の低い乗り物です。私たちは、その恵まれた状況に甘んじることなく、省エネ車両への切り替えや駅施設の省エネ、再生可能な自然エネルギーの活用など、さらなる環境負荷の低減に努め、持続可能な社会の実現へ走り続けます。

## Commitment

～京急グループの目指す姿～ 京急電鉄 グループ戦略部

京急沿線は、海、山、空という地球財産に囲まれています。このかけがえのない自然を守っていくのは、地域に根ざし、地域を愛し、地域とともに歩んできた鉄道会社の使命であるという自負と責任を持ち、沿線のステークホルダーの皆さまとともに、その時々で実現できる最高の環境を作り上げていきたいと考えています。京急の駅に来たら自然の心地良さを

感じられたり、職員の取り組みが沿線の皆さまの環境意識を向上させるようにできたら…。それが、京急グループの一員として私たちが目指す姿です。

平成21年2月に発表した「ノルエコ」ポスター。"乗るだけでエコ、乗ることがエコ"をキーワードにして、事業活動の中で環境対策を推進する京急の思いを地域の皆さまに伝えていきます。



# 地球温暖化防止と低炭素社会実現のために

## ●京急グループの環境マネジメント●

### 京急グループの環境への考え方

かけがえのない美しい環境を次世代に受け継ぐことの重要性が叫ばれる中、CO<sub>2</sub>排出量が他の交通機関と比較して少ないなど、鉄道が持つ環境優位性を最大限に生かしつつ、

地域との共創を常に心がけて地域環境を保全し、ひいては地球環境全体に資することができるよう、これからも京急グループはさまざまな取り組みを続けていきます。

### 基本コンセプト

モーダルシフトの推進・地域環境の保全・環境負荷の低減・沿線の環境価値創造

都心部と自然豊かな三浦半島を結ぶ生活路線を担う企業集団として、交通網の充実によるモーダルシフトを推進し、あらゆる事業活動や社会貢献活動を通じて地域環境の保全と環境負荷の低減に努め、持続的発展が可能となる沿線の環境価値創造に邁進してまいります。

### アクション指針

海、山、空。京急沿線は、三つの雄大な自然に囲まれています。車窓から見える景色は時代とともに変わっても、その時に見える

最高の環境であって欲しい。そんな沿線創りを実現するために、京急グループでは環境アクション指針を定めています。

海を大切に  
(温暖化防止・環境負荷低減)

太平洋の穏やかな波と豊かな海洋資源に恵まれた地域の発展に貢献することができるよう、あらゆる事業活動においてエネルギーの効率運用を目指し、環境負荷の低減に積極的に努めます。

山を大切に  
(生物多様性・意識啓発)

緑豊かな木々や生物の多様性に配慮し、いつまでも心と体を癒すことのできる自然空間の保全に努めるよう、沿線の自然環境に配慮するとともに、環境に関する法律や条令を順守し、絶え間なく社員の意識啓発を図ってまいります。

空を大切に  
(地域社会への貢献・沿線の環境保全)

澄んだ青空に向けて鉄道を利用する人々の笑顔と希望を運ぶため、鉄道の環境性能の向上と騒音や振動の防止に取り組み、環境にやさしい地域と暮らしの創出に寄与する交通インフラを整備してまいります。

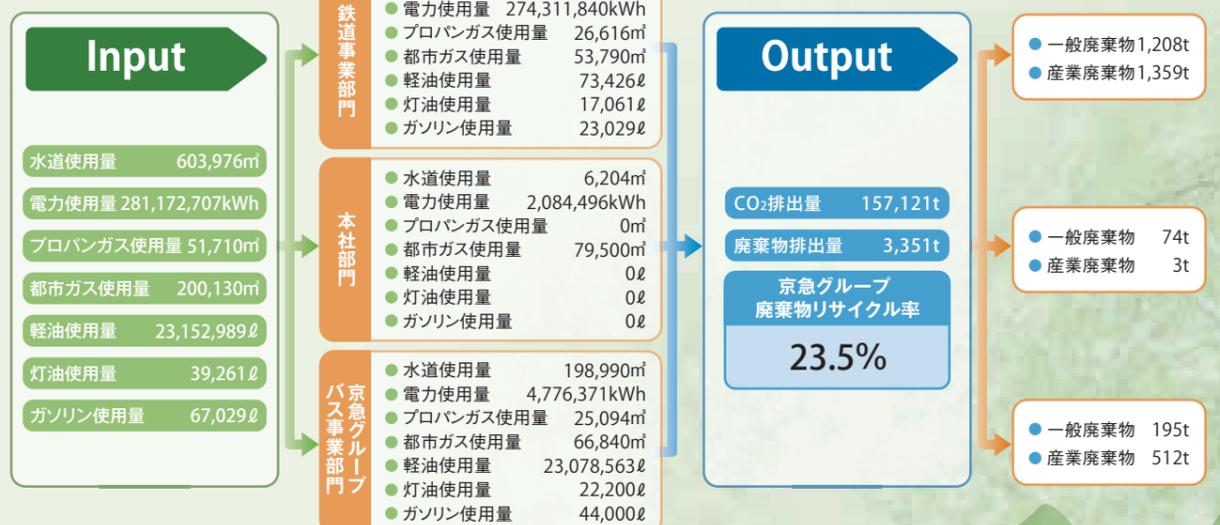
## 京急グループのエコバランス

鉄道をはじめとする各事業活動を行うには、エネルギーや資源(Input)が必要であり、また、その事業活動からは二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)等の地球温暖化物質や廃棄物(Output)が発生します。地球環境保護の観点からも、これらの環境負荷を

少なくする必要があります。

京急グループでは、これら環境負荷の低減を図るため、各事業における負荷を定量的に把握することに努めています。

### 京急グループ マテリアルフロー総括表



## 鉄道事業の取り組み

### 平成20年度の目標と主な取り組み

平成18年4月から施行された「改正省エネ法」に基づいて、中長期的な視点から「エネルギー原単位あたりのCO<sub>2</sub>排出量を年平均で毎年1%以上低減させる」という目標のもと、目標達成に向けてさまざまな取り組みを実施しました。

具体的には、省エネルギー型車両の継続的導入、鉄道施設の省エネルギー化(省エネ型照明器具への更新・高効率変圧器への更新等)を積極的に進めることで、エネルギー使用量を削減し、原単位あたりの二酸化炭素の排出量(t-CO<sub>2</sub>)の減少を図っています。

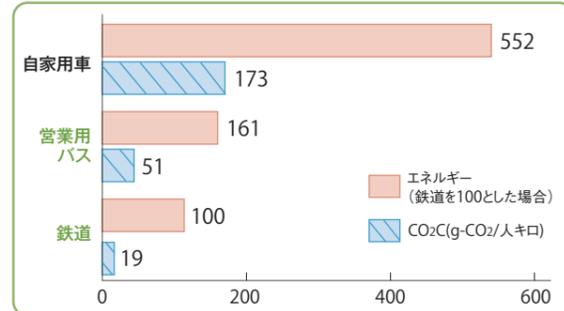
### モーダルシフトの取り組み

鉄道・バスなどの公共交通機関は、自家用車での移動に比べて乗客一人あたりのエネルギー使用量が少なく、また地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出量も少ない、環境にやさしい乗り物です。

私たち公共交通を担う者ができる最大の環境貢献は、交通手段としてお客さま視点からの魅力を高めることにより、自家用車から公共交通機関へと、環境負荷を軽減する「モーダルシフト」を推進することであると考えます。

そのために、より多くの方が快適にご利用いただけるよう、車両や駅施設のバリアフリー化を促進しています。また環境負荷をさらに減らすため省エネルギー車両を継続的に導入するなど、さまざまな取り組みを積極的に進めるとともに、省資源、リサイクル、リユース等を含め全般的な環境対策に努めています。

### 1人を運ぶのに消費するエネルギー・CO<sub>2</sub>排出量の比較(平成17年度)



出典/国土交通省「交通関係エネルギー要覧」平成19年度版  
交通エコロジー・モビリティ財団「運輸部門環境年次報告書」平成19年度版より作成

### 用語解説

- ※1【界磁チョップ制御方式】 複巻電動機に分巻界磁電流をチョップ方式で制御することにより回生ブレーキを使用可能とする速度制御方式
- ※2【VVVF制御方式】 Variable Voltage, Variable Frequencyの略で、交流電動機のための制御方式。日本語では、「可変電圧・可変周波数制御」と表記される。加速や減速する際に独特の音がすることで知られる
- ※3【NOx・PM法】 首都圏、大阪圏、中京圏の大気汚染の厳しい大都市を「対策地域」として定め、対策地域に登録している車でNOxとPMの排出基準に適合しない車両の所有、使用を制限する法律

### 省エネルギー車両

従来の電車の電気ブレーキは、発生した電力を抵抗器で消費して熱として発散させていましたが、この電力を架線に戻し、他の列車の動力源として有効利用できる「電力回生ブレーキ」を備えた「界磁チョップ制御方式<sup>※1</sup>」を昭和53年度から、さらに電力回生効率を高めた「VVVF制御方式<sup>※2</sup>」を平成2年度から採用しています。

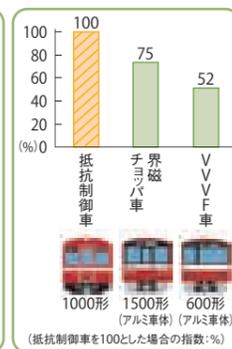
この電力回生ブレーキによる電力量の節減効果は、現在約30%に及んでいます(ここでは「界磁チョップ制御方式<sup>※1</sup>」、「VVVF制御方式<sup>※2</sup>」を採用している車両を「省エネ車両」と呼びます)。

また、車両の軽量化を図るため、昭和63年度以降「アルミ合金製」車体、平成19年以降「ステンレス製」車体にした車両を採用し、従来車に比べ約20%の軽量化が達成され、電力量の節減に大きな効果をもたらしています。

### 省エネ車両導入の推移



### 車種による運転用エネルギーの違い



### 自動運転型エスカレーター

駅の利便性を高めるため、エレベーターやエスカレーターを導入を進めています。これは一方で電力使用量の増加につながっています。そこで、利用者がいない時は自動的に停止する自動運転型のエスカレーターを採用するなど、使用電力量の抑制に努めています。

## バス事業の取り組み

### 利用促進に向けた施策

バスは公共交通機関として、鉄道と同様に環境負荷の少ない乗りものです。京急グループでは、お客さまに対して利用しやすい環境づくりやサービスの向上を図ることで、環境負荷の少ない公共交通機関の利用を促進しています。

スロープ付ワンステップバスやノンステップバス等はもちろん、

バスがどの地点を走っているかGPSで正確な位置情報を把握できるバスロケーションシステムを導入しています。その他、ワンコインバスやPASMO、環境定期、高齢者の方を対象としたふれあいバスの発行、ファミリー割引など、さらにお客さまにバスをご利用いただけるよう、日々努力を続けています。

### 排ガス規制適応車両・省エネ車両の導入

京急グループでは、改正省エネ法に定められた「平成27年度重量車燃費基準」をクリアした低燃費車両を積極的に導入し、CO<sub>2</sub>排出量の削減に努めています。また自動車のNOx・PM法<sup>※3</sup>、東京都環境確保条例等に対応するため、従来から最新の環境対策を施した車両を導入していますが、平成19年9月の新車購入時からは、すべて世界で最も厳しいと言われる「平成17年(新長期)排出ガス規制」に適合した車両を導入しています。

### ●ハイブリッドバス

ディーゼル車は、発進や加速時などエンジンを吹かすときに、最も多く粒子状物質(PM)や窒素酸化物(NOx)を排出します。ハイブリッドバスには、ディーゼルエンジンを発電のみに使用し、モーターを駆動力として使用するもの(シリーズ式)、発進や加速時にモーターや圧縮ガスでディーゼルエンジンの駆動力をアシストするもの(パラレル式)などがあり、いずれもPMやNOx排出量を大幅に削減するとともに低燃費を実現しています。平成21年9月末現在、京急グループでは空港無料連絡バスなど、16台のハイブリッドバスを保有しています。



### ●アイドリングストップバス

都市部のバスは信号待ちや渋滞等が多いという走行環境のため、停車している時間もかなりの割合を占めています。この停車中にエンジンを停止するだけでも、環境負荷の低減に効果が大きいことから、停車時に自動的にエンジン

が停止するアイドリングストップバスを平成7年度から導入し、平成21年9月末現在京急グループで817台保有しています。

アイドリングストップの装置が装着されていない車両についても、乗務員の手動によるアイドリングストップの徹底を図っています。

### ●CNG(圧縮天然ガス)バス

天然ガスを燃料とするCNGバスも、ハイブリッドバス同様に大気汚染の原因である窒素化合物や粒子状物質の排出量が大幅に少ない環境に配慮した車両です。京急グループでは平成14年度から導入しています。



### Point of view

#### 担当者の視点

#### 多彩なアイデアで「Ecoなバス」を実現

川崎鶴見臨港バス(株) 運輸部

ハイブリッドバス等の省エネ車両の導入はもちろん、タイヤの交換時には燃費向上につながる「エコタイヤ」への履き替えを行っています。また窓にスモークガラスを採用して夏場の車内温度上昇を防ぎ、エアコンで消費する燃料の削減を図るなど、環境対策の多角化を図っています。



その他の取り組み

横浜市「水源エコプロジェクト (W-eco・pウィ Copp)」に参加

京急百貨店は、横浜市水道局の推進する「水源エコプロジェクト (W-eco・pウィ Copp)」の第一号として協定を締結しました。これは、京急百貨店の寄付により間伐を中心とした林の整備を支援し、健全な森の育成と、ヨコハマのおいしい水の確保を目指すもので、今後5年間に、山梨県道志村の森林10ヘクタールの整備を支援します。協定第一号の記念として、森林につける名称を一般の方から募集しました。また平成22年に、山梨県から整備森林におけるCO<sub>2</sub>の吸収量認証を受けることに先立ち、お客さまに販売する商品やサービスへカーボンオフセット認証を活用するなど、京急百貨店とお客さまが一体となった環境活動を推進します。



水源を育む道志村の山並み

エコポイント制度の交換商品に認定

平成21年6月に、環境省から発表された「エコポイント」制度のポイント交換商品に、京急グループで利用できる京急百貨店商品券が選ばれました。この商品券は、京急百貨店だけでなく京急電鉄や京急バスの定期券購入など、環境にやさしい公共交通機関でも利用できます。エコポイントと交換された商品券売上上の0.3%は、横浜市の水源地保全を目的とした「水のふるさと道志の森基金」に寄付されます。



温暖化ガスを吸着する植物の植樹

京急ファインテックでは、環境への取り組みとして、温暖化ガスの削減を重点項目と捉え、平成20年度から、温暖化ガスの吸着効果に優れると言われる観葉植物「サンパチェンス」の植栽を進めています。「サンパチェンス」は、通常の植物と比べてCO<sub>2</sub>で4~6倍、NO<sub>2</sub>で5~8倍、ホルムアルデヒドで3~4倍もの吸収能力をもち、さらに、ヒートアイランド現象の解消に寄与する「うち水」と同様の効果があることも実証されています。



社屋新築時の環境配慮

京急電機では、本社社屋の新築にあたり、地域の緑化を推進する川崎市の方針に対応して、敷地内に従来より広い緑化スペースを設けるなど、さまざまな環境配慮を実施しました。建物内でも、エントランスのダウンライトに消費電力の少ないLEDを採用したほか、その他の共用スペースにも、従来の蛍光灯よりも省エネ効果の高いFHFタイプの蛍光灯を採用しています。また、従業員用に設置している飲料の自動販売機も最新の省エネタイプを導入しました。

京急電機では、これらの省エネ・緑化への取り組みを通じて、これからも省エネルギー、CO<sub>2</sub>の排出削減とともに、社員の環境意識の向上を図っていきます。



廃棄物の削減・リサイクル

鉄道事業の取り組み

再生可能な素材の利用

車両の新造にあたっては、廃車・解体時にリサイクルが可能であること、またそのための分別解体の容易さ等を考慮に入れた設計や材料選びをしているほか、リサイクル製品を積極的に活用しています。

京急の最新鋭車両、新1000形では車両部品にリサイクル製品を使用する一方、リサイクルのしにくいFRP材を削減したり、断熱材のノンアスベスト化などに取り組んでいます。



その他の取り組み

スーツの回収

京急百貨店では、10月16日~29日の間、お客さまから不要になったスーツを店頭で回収し、紳士服で使用できる300円相当のクーポン券と交換するキャンペーンを実施しました。思い出が詰まったスーツを捨てるには忍びないというお客さまの声に応え、期間中に回収した約1,200着のスーツは、地元のリサイクル業者を通じて工業用の雑布や軍手、耐震材や断熱材として再生されました。



レジ袋削減の協定

レジ袋の削減、過剰な容器包装の使用抑制、店舗から発生するごみの削減等は、小売業を営む企業にとって最優先で取り組むべき課題であり、最も生活者に身近な環境問題でもあります。

京急百貨店、京急ストア、ユニオネックスの3社は、ごみの減量化を進めるため、横浜市が推進する「横浜G30プラン」(平成22年度におけるごみ排出量を13年度に対し30%削減)に賛同し、

バス事業の取り組み

資源の有効活用(水の再利用)

自動車車両の洗車後の水を回収・整水し、無駄に使用した分の補給水と合わせ再利用により水資源の有効活用を図る装置を、昭和62年から京急バスグループの営業所に導入しています。

自動車車両洗浄装置  
 使用量…約370リットル/1台  
 回収率…洗車後の水の約80%



ペットボトルリサイクル

平成14年からペットボトルのリサイクル生地をバスのシート地に採用しています。500mlペットボトル約18.4本でシート1脚分がつかれます。

京急グループでは、このシートを、路線バス、リムジンバスのほぼ全車両、高速バスの全車両が搭載しています。今後もその割合を着実に増やしていく予定です。



京急バスのペットボトルリサイクルポスター

ペットボトルキャップの回収

京急グループでは、全従業員の協力によりペットボトルキャップの回収・寄付活動を実施しています。これは、京急グループ全体のCSR活動の一環として行われているもので、1月14日、NPO法人「エコキャップ推進協会」へ第1回目の寄付を行いました。10月現在で回収されたキャップは約84万個で、これは約1,050人分のポリオワクチンに相当します。



Point of view

担当者の視点

動物保護を訴える水像「明日の海」を制作

ホテル グランパシフィック LE DAIBA Ice デコレーターシェフ

私は毎年「さっぽろ雪まつり」で水像を制作していますが、平成21年1月の第60回では、動物保護をテーマにクジラ、イルカ、ジュゴン、マグロをモチーフとした「明日の海」を制作しました。「さっぽろ雪まつり」に限らず、最近では環境問題を水像のテーマとして与えられることが多くなっています。これからも自然の大切さを皆さまに伝えられるような水像づくりをしていきたいと思います。



レジ袋削減キャラクター「ミーオ」

# 地域の皆さまの 信頼に応えるために 走り続けます

地域の皆さまの快適な暮らしへ貢献すること。それこそが私たち京急グループの社会的使命です。沿線の自然環境に配慮し、利便性を向上させることで将来を担う子どもたちの暮らしをより良くする企業集団であるために、これからもさまざまなステークホルダーの皆さまと積極的にコミュニケーションを図りながら、私たちは走り続けます。

## Commitment

### ～京急グループの目指す姿～

ホテルパシフィック東京 常務取締役 総料理長

一緒に買い物に行く、一緒に料理をつくる、親子で一緒に食べる。「食」というものは、子どもたちの感性を育む親子のコミュニケーションに欠かせないものです。今の子どもたちは、昔に比べて親の手料理を食べる機会が減り、食育という面では不足している部分が多分にあると思います。加工食品しか見ていないことも多く、素材の原型を知らないお子さんもいらっしゃいます。素材そのものの香りを楽しんだり、素材が形を変えて料理になる過程を知ることで、子どもたちの好奇心が刺激され、豊かな感性が育まれていきます。

私たちは、これからも食を通じて親子の絆の大切さを伝えていきたいと考えています。



## 地域の皆さまとのコミュニケーション

### 地域の子供たちを対象とした食育活動

ホテルパシフィック東京では、「社団法人 東京都司厨士協会」主催の「フランス料理を楽しむ集い」に毎年協力し、主に小学生を対象とした食育活動に力を入れています。平成20年度は、港区立高輪台小学校で実施し、フランス料理を楽しみながら、素材の説明や食事のマナー、後片付けの大切さなど、「食」を通じてさまざまな知識を子どもたちに伝えました。このほかにも「親子のチョコレートづくり教室」や「親子カレー大会」など、多彩なテーマで食育活動を推進しています。

「第9回 フランス料理を楽しむ集い」当日メニュー  
前菜 南フランス地中海産野菜の煮込みと  
小海老のサラダ仕立て  
(ウエスティンホテル東京)  
スープ フレンチオニオンスープ(ハ芳園)  
メイン おばあさんの味 牛挽肉とマッシュ  
ポテトの重ね焼きマデラソース添え  
(ホテルパシフィック東京)  
デザート チョコレートのクグロフ  
イチゴクリームとイチゴ添え  
(グランドプリンスホテル赤坂)  
パン・ミネラルウォーター  
(ホテルニューオータニ・山の上ホテル)



## ずっと社会から必要とされる京急であるために

### 協賛・寄付関連

京急グループでは、「緑の東京募金」や東京オリンピック招致活動などをはじめ、地域社会の発展に寄与するイベント等には積極的に協賛・寄付等を実施し、地域の活性化に貢献していきます。



石原都知事(左)から緑の東京募金の感謝状を拝受する石渡社長(右)

### 小・中・高校生向け交通安全講習会

京急自動車学校上大岡校および茅ヶ崎校では、指定自動車教習所が、地元警察や自治体等から地域の交通安全教育センターとしての役割を果たすことを期待されていることに鑑み、小学生から高校生を対象とした交通安全講習会に、職員を指導員として派遣しています。

小学生向けには、自動車の死角や横断歩道での注意など、主に歩行時の安全指導を実施。中学生以上には、自転車の二人乗りや傘さし運転時における危険性など、自転車事故防止の安全指導を行っています。交通事故防止につながる活動として、子どもたちの保護者をはじめ、管轄警察署、自治体、安全協会等から高い評価をいただいています。



(株)京急自動車学校  
京急上大岡自動車学校 業務運営部

### 地域の安全に貢献します

交通安全教育センターとしての社会的役割を認識し、関係各所と協力しながら、これからも積極的に交通安全教育に貢献していきます。



(株)京急自動車学校  
京急茅ヶ崎自動車学校 業務運営部

### 免許取得前の教育が大事

交通事故を防止するためには、免許取得前、小学生のころから交通マナーを身につけることが大事であるという使命を持って取り組んでいます。



### よこすかクリーンウォーク

京急電鉄は、平成21年7月、第2回「よこすか京急沿線ウォーク」として「ソレイユの丘ウォーク」を実施しました。三崎口駅をスタートし、長浜海岸、荒崎公園を經由してソレイユの丘を目指す、約13kmのコースです。今回は、財団法人 かながわ海岸美化財団協力のもと、三浦半島の自然環境を保全するため、海岸のゴミを拾いながらウォーキングを実施。参加者は、三浦半島の雄大な自然を舞台に、健康と環境にやさしい一日を楽しみました。



### 地域・自治体と協力した活動

京急電鉄の駅周辺の商店街等と協力した清掃活動、観音崎京急ホテルによる観音崎公園の清掃活動など、グループ各社がその地域や事業に応じた清掃活動を自治体等とも協力しながら積極的に実施しています。

また、沿線で入院している子どもたちを励ますために、駅長や運転士が病院を訪問しています。



京急電鉄 川崎大師駅 駅長

私たちのようなサービス業を評価するのは、あくまでお客さまであることを忘れてはなりません。お客様から「良くやっていますね」と声をかけていただけるよう、駅の教習などを通じて課題の共有を図っています。私たちは、地域のお客さまにいつでも気持ちよくご利用いただける駅を目指しています。



### 高架下フェンスアート

京急電鉄は、平成20年9月に開催された「黄金町バザール」に協力し、日ノ出町～黄金町駅間の高架下工用フェンスの一部を利用した、「高架下フェンスアートプロジェクト」を実施。アーティストや近隣の学生、地域住民の方による芸術作品を制作・展示しました。日ノ出町・黄金町地区の新しい街づくりの第一歩として、商店街への集客、街の活性化、地域のイメージアップに貢献しました。





## お客さまとのコミュニケーション

### 京急ご案内センター

京急グループでは、京急をより身近に感じていただけるよう、京急ご案内センターを開設しています。京急線の時刻や運賃、お忘れ物のご案内はもちろん、京急グループのサービスや施設に関するお問い合わせや、ご意見・ご要望を受け付けています。

### 京急ご案内センター

TEL 03-5789-8686 または TEL 045-441-0999  
受付時間：平日 7:30～21:00 土・日・祝日 9:00～17:00

### 臨港バスのご案内専用番号 TEL 044-245-8686

受付時間：平日 9:00～19:00 土・日・祝日 9:00～17:00

- 主な受付内容
- 臨港バス・臨港グリーンバスの時刻、運賃のお問い合わせ
  - バス乗り場、路線に関するお問い合わせ
  - 臨港バスグループの各施設についてのお問い合わせ

### お客さまの声をサービスに活かす取り組み

電車・バスをはじめとした京急グループのサービスを、より便利に、より快適にご利用いただけるよう、京急では、お客さまの声をサービス改善に活かす取り組みを行っています。

毎日、京急ご案内センターに寄せられるお客さまのご意見・

ご要望は、データベース化され、分析をしたうえで、担当部署・各グループ会社へ報告されます。京急ご案内センターと担当部署・各グループ会社が連携し、改善を目指すことで、お客さまにより良いサービスを提供できるように努めています。

### 平成20年度のお客さまの声を活かした具体的改善事例

#### 主な優先席ステッカーの リニューアルと「マタニティマーク」

#### お客さまの声

- 優先席でお年寄りや席をゆずってもらえない光景をよく見かけます。優先席の位置をもっとわかりやすくできませんか。
- 携帯電話禁止の表示は大きくしてもらえませんか。
- 優先席前に立っただけでも、妊婦に対しては席を譲ってもらえないことが多いと思います。マタニティバッジは配っているけど、電車内にマークがなく、利用者が認知していないと感じます。

#### サービスの改善

平成21年4月から、優先席ステッカーと携帯電話のマナーステッカーをよりわかりやすい新しいデザインに変え、あわせて「マタニティマーク」も掲出しました。

#### 「京急ポイント」& 「クレジット決済」に対応

#### お客さまの声

- 京急タクシーを利用する際、現金以外の決済方法がないので「クレジットカード決済」に対応してほしい。
- 京急タクシーグループで、「京急ポイントカード」が利用できるようにはできませんか。

#### サービスの改善

平成21年4月1日から、京急タクシーグループ全社で「京急ポイント」&「クレジット決済」に対応しました。

## 株主・投資家とのコミュニケーション

### IRの基本的な考え方

京急グループでは、長年の事業実績による信用をベースに、引き続き地域に密着した事業を展開し、沿線の皆さまにお客さま、投資家の両面からご支援をいただくことが重要であると考えております。

そこで、個人投資家の方でも気軽に経営情報にアクセスできるよう、京急電鉄ホームページのIRサイトにおいて、決算短信、有価証券報告書などに加え、個人投資家向け会社説明会の資料など、当社の経営情報をわかりやすくご説明した資料を公開しております。

### さまざまなIR活動

株主総会には、毎年1,500名を超える株主の皆さまにご出席いただいております。1年間の事業内容を、ビジュアルを用いてわかりやすく報告しています。また、丁寧な質疑応答を通し、開かれた株主総会を実践しています。さらに京急グループの経営方針や将来展望、株式や株主優待制度などを、より多くの皆さまにご理解いただき、京急グループをご支援いただくため、機関投資家・個人投資家向けの会社説明会を毎年開催しています。また、当社の事業をより深く理解していただくため、株主、投資家の皆さまに普段入れないような施設を見学していただくイベントを開催しています。



株主向けの国際ターミナル駅(仮称)見学会

## 従業員とのコミュニケーション

### 企業としての障がい者雇用の取り組み

障がい者雇用の促進は「あらゆる人がともに住み、ともに生活できるような社会を築く」というノーマライゼーションの理念のもと、各企業にはその理念の達成および、企業の社会的責任の一端として障がい者の雇用が求められています。

京急グループでは法令や社会的規範に則り、企業としての社会的責任を果たすとともに、地域社会との協調・連携に努めるよう「障がい者の雇用の促進等に関する法律」に基づき特例子会社および関係会社の特例認定を受け、障がい者の雇用促進と就業機会の拡大を進めています。

### 女性従業員の積極的な採用

京急グループでは、女性従業員の採用に積極的に取り組んでいます。駅係員や乗務員(運転士・車掌)など、鉄道事業においても女性従業員のための就業環境を整備し、同時に仕事と育児の両立を支援する制度の拡充や職場の雰囲気づくりを推進しています。

鉄道事業では、平成21年3月末時点で、駅係員75名、車掌11名、運転士4名の女性が活躍しています。



### 再雇用の推進

少子高齢化が進む現在、京急グループでは平成13年から定年退職者の再雇用制度を導入し、シニアスタッフとして定年をむかえた社員を再雇用しています。

現在は141名が在籍し、専門性の高い業務などを中心に活躍しています。フルタイムやパートタイムなど、シニアスタッフ本人の希望を取り入れることにより、働きやすい環境づくりに力を入れています。

この制度は、改正高齢者雇用安定法の順守だけでなく、シニアスタッフの経験・技術の伝承や、多様な雇用形態による生産性の向上においても必要不可欠なものと位置づけています。

### Point of view

#### 担当者の視点

#### 社員に貴重な経験をもたらす異業種間教育

ホテル グランバシフィック LE DAIBA 総支配人室

当ホテルでは、お客さまサービスの向上を目指してCS委員会では異業種間教育を開始しました。初年度は、京急電鉄と東京ディズニーランド(以下TDL)にCS委員会の若手社員が訪問し、訪問先企業の社員の方を講師とした研修を実施。京急電鉄のクレーム対応、TDLのショーとサービスの融合など、異業種のサービスには学ぶところが多く、参加した社員にはとても貴重な経験となりました。今後も訪問先として日本航空を計画しており、継続的な取り組みとしていきたいと思っています。



### 安全で健全な職場環境の整備

全国安全週間の期間中に、「京急グループ安全大会」を開催し、社員の安全・衛生教育の意識向上に努めています。また、開催日にあわせ無事故・無災害団体の表彰を行い、意識向上を行っています。



### 従業員の健康への配慮

定期健康診断実施時に法定検診項目のほかに成人病検診もあわせて実施し、社員の健康管理に努めています。また、昨年度から検診・指導が義務づけられたメタボリックシンドローム対策の一環として、診断基準に該当する社員には、半年にわたり特定保健指導を実施しています。

さらに、社員全員を対象とした「ヘルスアップ京急2008」キャンペーンを企画、参加者全員に万歩計を配り、1日に7,000歩以上のウォーキングを110日間続けた参加者には記念品を出すなど社員の健康に対する意識向上を図る活動も行っています。

また、メンタルヘルス対策として週一回、社内診療所に精神科専門医を配置しているほか、カウンセラーや保健師による相談窓口(電話による相談も可)の設置など、従業員が相談しやすい体制を整えています。



# CSRマネジメント体制の構築

## コーポレート・ガバナンス

### コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

京急グループは、法令を順守し、経営の透明性・健全性を確保したうえで、経営環境の変化に対応し、適時かつ適切に意思決定と業務執行を行うことにより、企業価値の向上を目指しています。

コンプライアンス体制といたしましては、グループ全体で法令順守の理念の実現に向け、公正で透明性の高いグループ経営に取り組むほか、「京急グループ・コンプライアンス指針」に基づき、コンプライアンス体制の構築を図っています。

当社は、現状において、適時かつ適切に取締役会等の運営を行い、迅速かつ適正な意思決定ができていますと、従前どおり監査役制度を採用しています。経営監視機能については、各監査役が、経営状況や取締役の職務遂行の適法性などの監査を行うほか、取締役会や常務会などの重要な会議に出席し、必要に応じて意見陳述を行っています。また、社外取締役と社外監査役が、法令はもちろん社会規範を順守する視点から経営を監視しています。

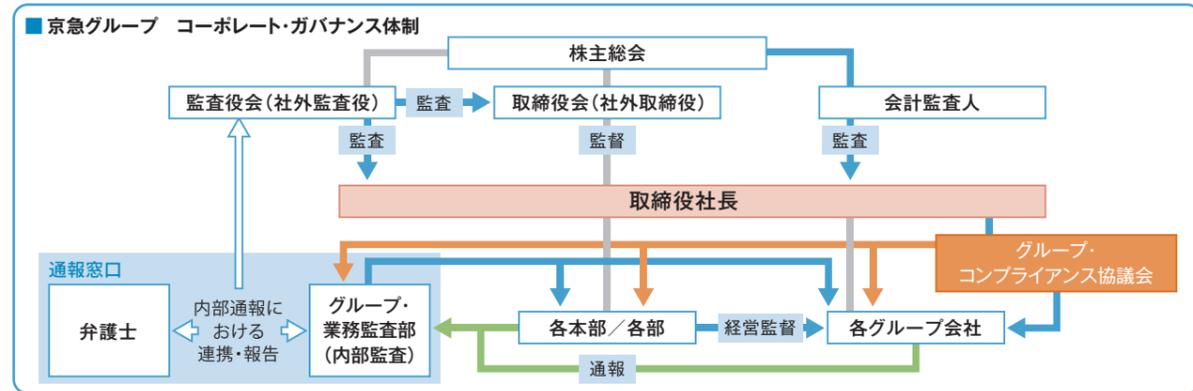
取締役および監査役の報酬については、決められた総額の範囲内で、取締役会および監査役の協議により各人の支給額を決定しています。

また、グループとしての経営方針の徹底と経営情報の共有化を図るため、京急グループ社長会を定期的に開催し、グループ統治機能の強化に努めています。

このほか、京急電鉄では、金融商品取引法に基づく内部統制報告制度<sup>※1</sup>に対応するため、京急グループ全体における財務報告に係る内部統制評価の推進体制を整備しています。今後も、内部統制評価への取り組みを一層強化し、京急グループにおける財務報告の信頼性向上を図ってまいります。

#### 用語解説

※1【金融商品取引法に基づく内部統制報告制度】  
企業に対し、財務報告に関する内部統制が有効に機能しているかを自己評価した報告書を有価証券報告書とあわせて提出させ、同時に当該評価が適切であるか外部の監査を求める制度



## 危機管理体制

### リスクマネジメントの基本的な考え方

公共交通機関を中心に事業を行う当社の社会的責任を踏まえ、サービス・商品の安全・安心を確保するため、京急グループ危機管理規程に基づき、平時から安全対策などに積極的に取り組むとともに、万一の事故や災害等の発生に備え、各種対応方法を整備します。また、危機発生時に、グループ全体の情報を集約・共有することにより、危機のすみやかな収拾と再発防止を図ります。

さらに、グループ全体のリスク情報を管理するため、各部門は当事業に係るリスク情報を把握し、損失の最小化を図るための対策を講じます。またグループ業務監査部は各部門および各グループ会社のリスク管理体制についての監査を行います。

各部門が把握するリスク情報については、グループ全体のリスク情報として集約し、グループ・コンプライアンス協議会において情報の共有化を図っています。

### 危機管理委員会・危機管理責任者

グループ全体の危機に対応する事項を検討・立案する「危機管理委員会」を設置し、平時から安全対策などに積極的に取り組んでいます。また、京急電鉄の各部長とグループ会社社長を「危機管理責任者」とし、危機管理委員会の方針および指示に従い、自部署・自社における具体策の立案・実行・見直しを行っています。

### 危機対策総本部

重大な事件、事故、不祥事、自然災害、疫病、テロの発生など、グループ全体での対応が必要な場合には、京急電鉄の社長を本部長とした「危機対策総本部」を設置し、迅速かつ正確な事実確認と情報公開を行うとともに、ステークホルダーの損害を最小限にとどめるための活動を行います。

京急は、グループ全体が協力して社会的責任を果たし、本業である豊かな都市生活の基盤づくりを通じて社会に貢献できるよう、CSR推進体制の充実に注力しています。

## コンプライアンス

### コンプライアンスの基本的な考え方

京急グループでは、法令や社会規範に則り、京急グループを取り巻くすべての皆さまからの信頼に応え、企業市民として期待される社会的責任を果たすために、「京急グループ・コンプライアンス指針」、「京急グループ・役員および従業員行動基準」を策定しています。

#### 京急グループ コンプライアンス指針

- 1.お客さまに対して**  
お客さまの豊かな生活のために、安全で、満足を得られるサービス・商品の提供に努めます。
- 2.株主・投資家に対して**  
投資に対する期待に応えるために、長期的・安定的な企業価値の増大を目指した事業活動と、適時・適切な企業情報の開示に努めます。
- 3.地域・社会・環境に対して**  
よりよい社会の形成に貢献するために、地域社会との協調・連携に努めるとともに、地球環境を守るために、環境への負荷軽減に努めます。
- 4.取引先に対して**  
相互の繁栄のために、合理的な商慣習に則った、公正・透明な取引に努めます。
- 5.従業員に対して**  
従業員が安心して意欲的に働くことができるために、個人の尊重と、良好な職場環境の維持・向上に努めます。

#### 京急グループ 役員および従業員行動基準

- 1.お客さまに対して**  
(1) 私たちは、常にお客さまの安全を最優先に考え、サービスや商品を提供します。  
(2) 私たちは、お客さまのニーズを把握するとともに、お客さまの声を活かし、満足度の高いサービスや商品の提供に努めます。
- 2.株主・投資家に対して**  
(1) 私たちは、株主・投資家などから正しい評価を得られるよう、適時・適切な企業情報の開示に努めます。  
(2) 私たちは、業務上知りえた内部情報を利用して疑惑や不信を招く株式の売買等を行いません。
- 3.地域に対して**  
(1) 私たちは、地域に密着した企業グループの一員であることを自覚し、地域の発展のために活動します。  
(2) 私たちは、明るく住みやすい社会となることを目指して、地域社会への貢献に努めます。
- 4.社会に対して**  
(1) 私たちは、市民社会の秩序や安全を脅かす反社会的勢力との関係を断ち、毅然とした態度で対応します。  
(2) 私たちは、社会的に許されない政治献金や寄付、社会から誤解や不信を抱かれるような接待や贈答を行わず、また、受けません。
- 5.環境に対して**  
(1) 私たちは、地球環境を守る担い手として、環境への負荷軽減、資源の有効活用に努めます。  
(2) 私たちは、環境の保全に配慮し、自然環境と調和した事業活動に努めます。
- 6.取引先に対して**  
(1) 私たちは、不当な取引制限や、不公正な方法による取引は行いません。  
(2) 私たちは、取引先との間で公正な取引関係を築き、会社と取引先の双方にとって最適な取引を行うよう努めます。
- 7.会社に対して**  
(1) 私たちは、会社の財産（知的財産、企業ブランドを含む。）を大切に扱い、その価値の維持・増大に努めます。  
(2) 私たちは、会社の重要情報およびお客さまや他社の機密情報を厳重に取り扱い、漏洩の防止に努めます。
- 8.役員・従業員相互の関係**  
(1) 私たちは、職場における事故の防止に全力を尽くし、安全で衛生的な職場環境の整備に努めます。  
(2) 私たちは、個人の人格と人権を尊重し、国籍・性別・宗教などによる差別やセクシュアルハラスメントなどの嫌がらせのない、明るく活気のある職場づくりに努めます。

### 個人情報保護

京急グループは、個人情報保護に対する社会的要請に応えるべく、法令等を順守するとともに、個人情報保護に関する取り組み姿勢を明確にするため、プライバシーポリシーを定め、忠実に順守し実行します。

※個人情報保護方針の全文は、京急電鉄のWebサイトをご覧ください。  
トップページ▶個人情報保護方針

### コンプライアンスに関する教育・研修

京急グループの全社員が、コンプライアンスに対する理解を深め、一人ひとりが正しく行動できるよう、新入社員から管理・監督職まで階層別に研修を実施しています。また、「京急グループ・コンプライアンス指針」や「京急グループ・役員および従業員行動基準」をカードサイズに印刷した「コンプライアンスカード」を、全役員・従業員が携帯しており、常にその趣旨を意識し、行動できるようにしています。

#### 階層別研修実施内訳

対象者	回数	延参加人数
新入社員	4回	458名
一般社員	4回	58名
昇格者	10回	178名
乗務員転籍者	2回	34名

※コンプライアンス協議会は除く

### 内部通報制度・相談窓口

京急グループでは、所属会社や雇用形態を問わず、すべての従業員が利用できるコンプライアンス窓口を社内と社外の2か所に設置し、コンプライアンス違反に関する通報および相談を受け付けています。

また、「内部通報規程」を整備し、通報者の保護など公正かつ適正な窓口の運営を徹底しています。さらに、コンプライアンスカードに窓口の連絡先を記載するなど、グループの全従業員に周知し、窓口の実効性を確保することで、コンプライアンス違反情報を早期に察知し、違反を防ぐ体制を構築しています。

